

青年委員会設立のご挨拶

[松戸支部 山岡 治 / 印旛支部 小野 真路]

近年、若者の建築離れや建築士事務所への入職者が少なくなっている中で、建築士・建築士事務所の魅力向上、業務環境の向上、異業種との連携など様々な課題があります。少しでも課題が解消できるよう青年同士の意見交換・情報交換の出来る場が



必要となってきています。ここ数年、全国大会に合わせ「青年話創会」を開催しています。「青年話創会」は若手建築士が集い、ブロック・単会の活動発表を行い、意見交換・情報交換を行っています。現在46単会中30単会で青年部会・委員会が立ち上げられており、未設立の単会では青年部会・委員会の立ち上げが進んでいます。日時連会報に青年話創会レポートとして活動報告が載っています。

千葉会では昨年度、青年委員会設立の為、準備委員会を立ち上げ、4名で進めてきました。そして本年度、青年委員会は立ち上げられました。主な目的は建築士のプロフェッショナル集団として、社会貢献、若手育成、技術向上、団体交流となりますが、まずは意見交換・情報交換を活発に行いたいと考えています。

千葉会の青年委員会の入会資格者は協会正会員企業及び賛助会員企業の50歳以下となり、入会の意思を表示すれば入会できます。

会を通して若手が交流し、切磋琢磨し、さまざまな発想や気づきを得て、仲間とつながること、そして絆が生まれることで若い力を育成できるのではないかと考えています。

今年度はコロナの影響で活動は未定ですが、是非、入会して本会を盛り上げていこうではありませんか！

松戸支部 山岡 治

この度、青年委員会の委員長を拝命致しました、印旛支部の小野真路(おのしんじ)と申します。

私は2015年に独立開業し、現在35歳です。

若輩者ではありますが、多くの皆様に支えられながらこの役を務めさせていただきます。なぜ、設計事務所の中で青年が集わなくてはならないのか。それは、これからの社会を作り上げていく責任があるからです。

建築業界は社会に安心・安全の基盤を提供し、社会生活を多くの方に提供する必要があります。

新たな技術や手法を勉強し、タイムリーに世の中に提供する為には建築業界の青年が集い力を合わせていく必要があります。

多くの先輩方に支えて頂ける現状に甘えることなく自分達の意味で考え、自分達の良いと考えるものを世の中に提供する。

それこそが我々青年建築士の責任であると考えます。

とは言っても、同世代で集い仲間を増やすことは実業にも繋がりますし、気軽に相談できる関係が出来るようになります。事務所協会に加入している意味を見いだせていない青年会員には是非青年委員会に加入し、独自のネットワークを構築し事務所協会を動かしませんか？

会社ではやり切れないことや建築を通して社会に問題提起していきたいことを事務所協会を通して一緒にやってみましょう。多くの青年の力があれば、社会に対しての問題提起も可能ですしモヤモヤしていることも少しはスッキリしませんか？

より多くの青年建築士が集い今後の建築士事務所協会、建築業界を作り上げ社会を支える建築業界を盛り上げましょう。

現会員で後継者の方のご紹介もお待ちしております！

印旛支部 小野 真路